

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5 年 6 月 19 日

(あて先) 姫路市長

提出者

住所

姫路市南駅前町26番地

氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

大和ハウス工業株式会社姫路支店

支店長 戸松 広明

電話番号

079-285-2151

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 4 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

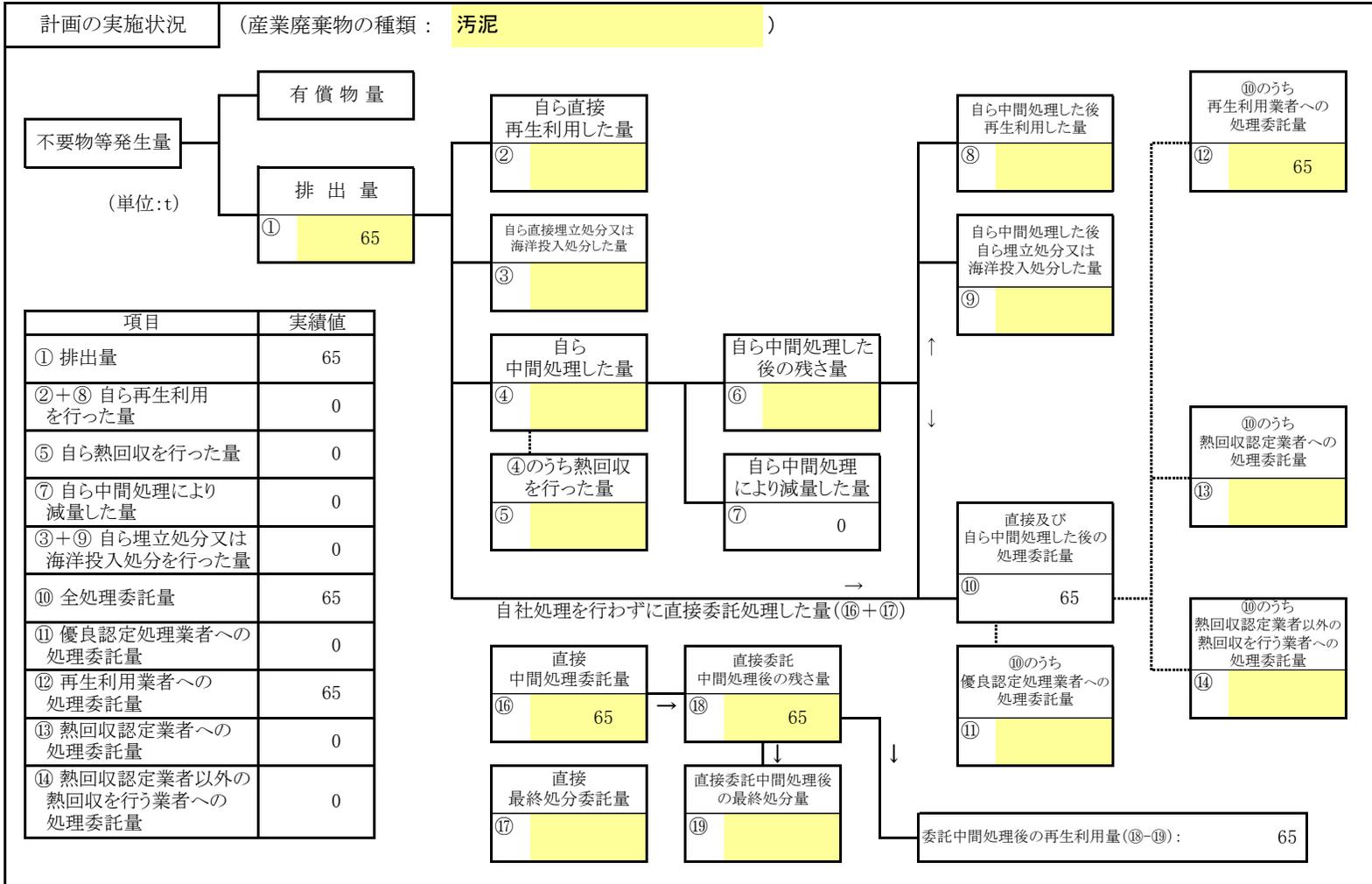
事業場の名称	姫路市 管轄内事業場
事業場の所在地	姫路市 管轄区域内
事業の種類	0641 建築工事業(木造建築工事業を除く) 0651 木造建築工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2751 t	全処理委託量	2751 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	785 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2634 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	49 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

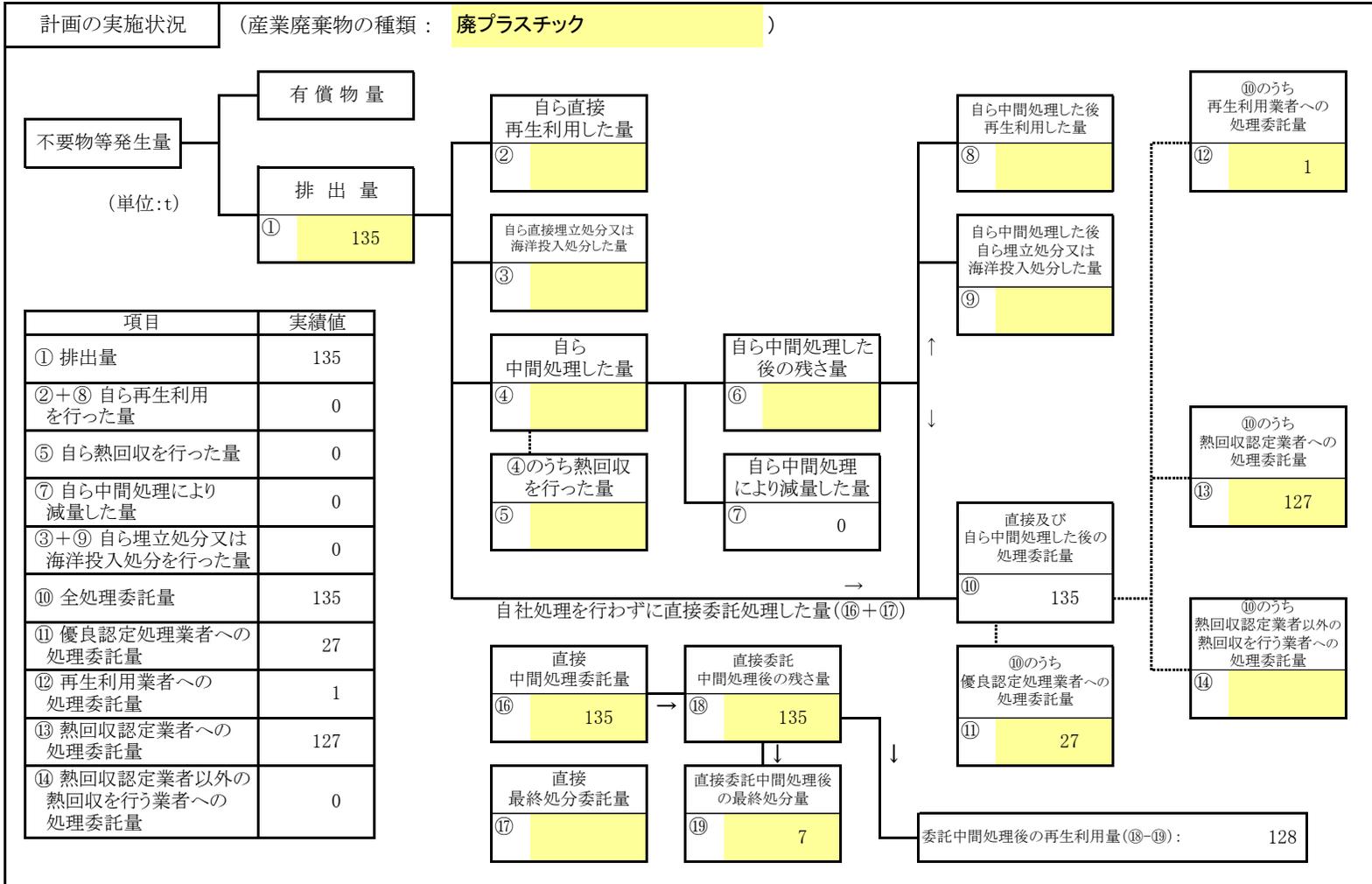
(日本産業規格 A列4番)



(第2面)

備考 1) ⑮～⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) 黄色の部分に入力してください。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

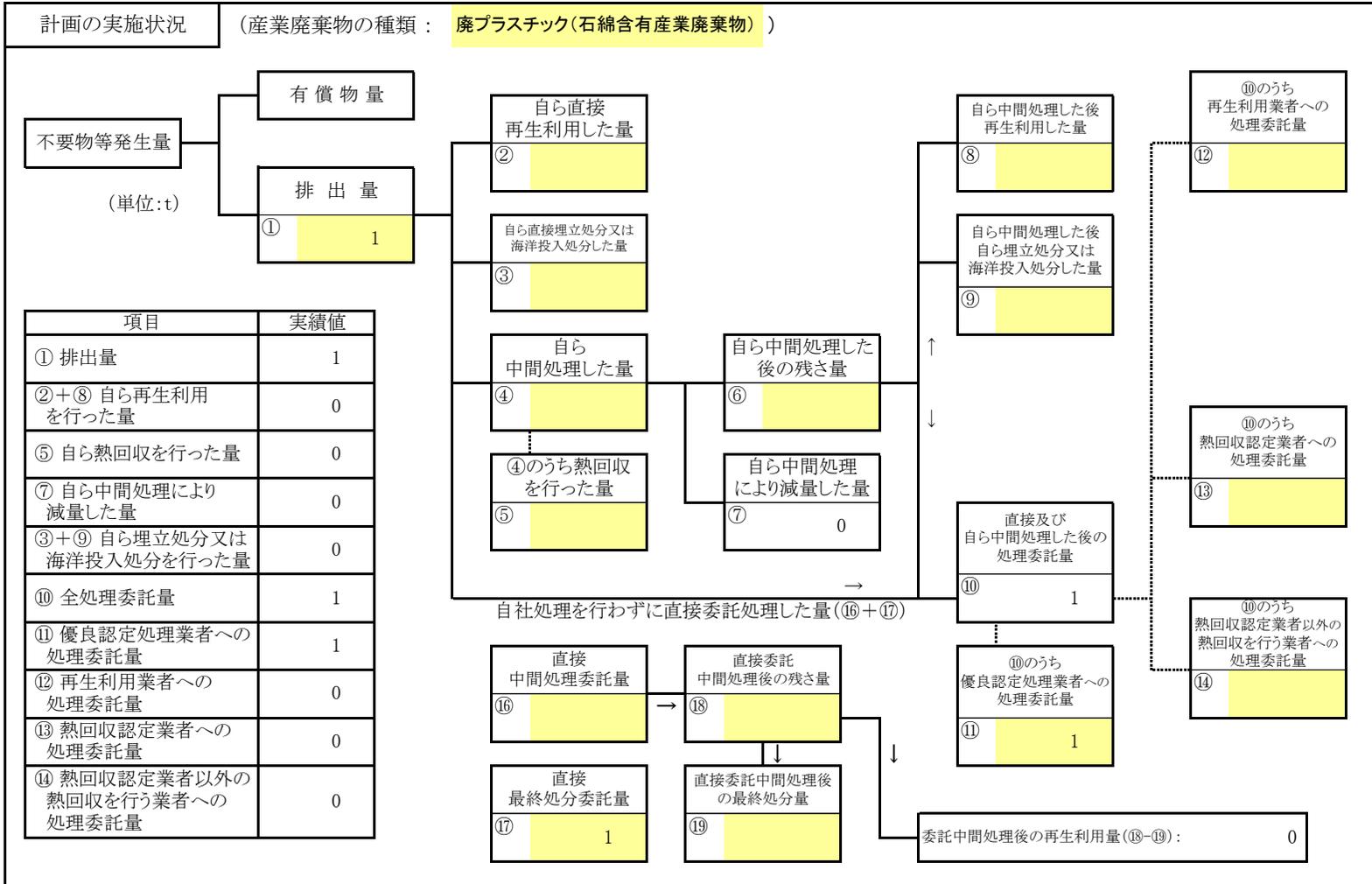
項目	①-(②+③+④+⑮+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑮+⑰)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正



(第2面)

備考 1) ⑯~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) 黄色の部分に入力してください。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

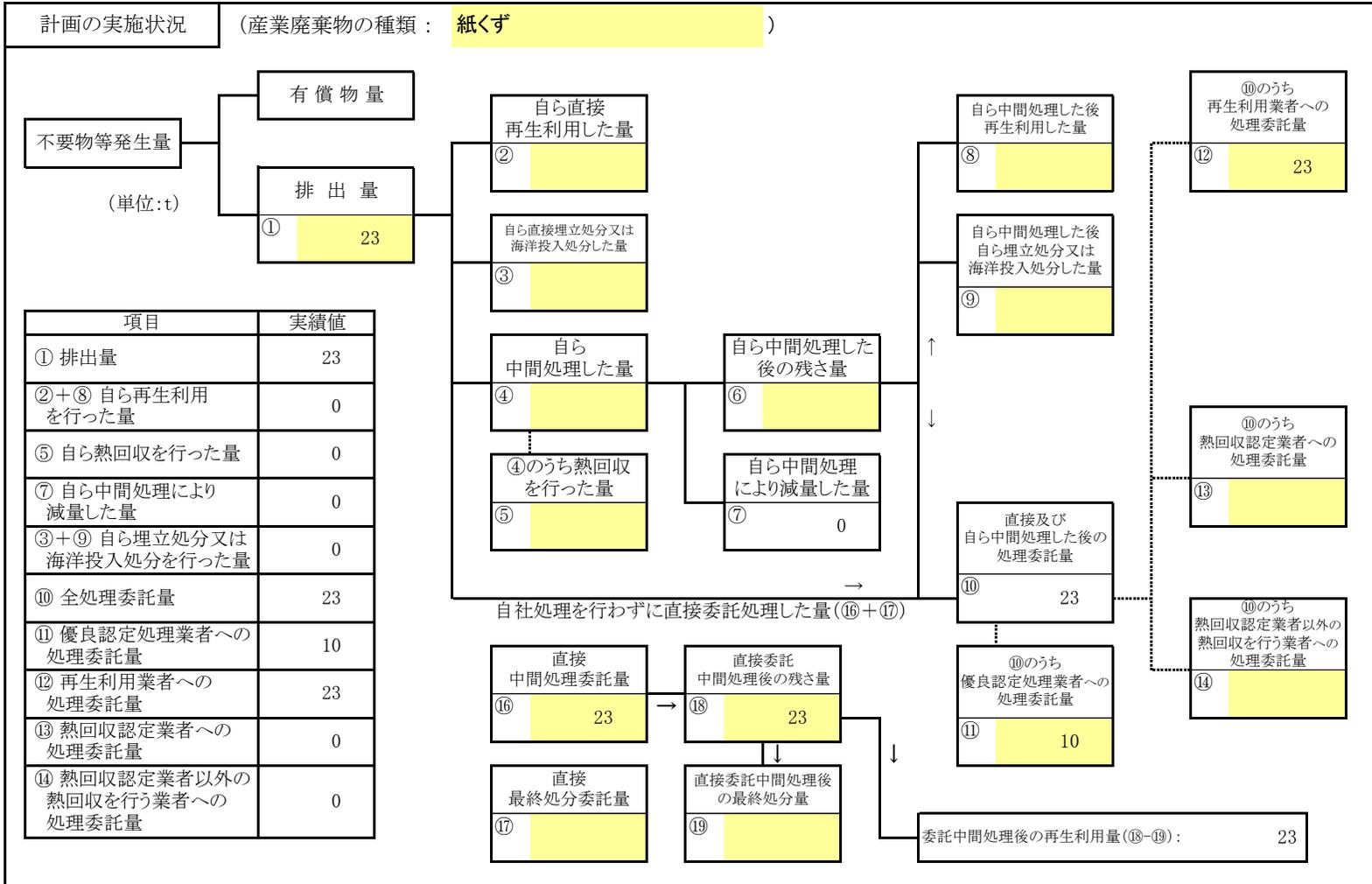
項目	①-(②+③+④+⑯+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑯+⑰)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正



(第2面)

備考 1) ⑯~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) 黄色の部分に入力してください。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

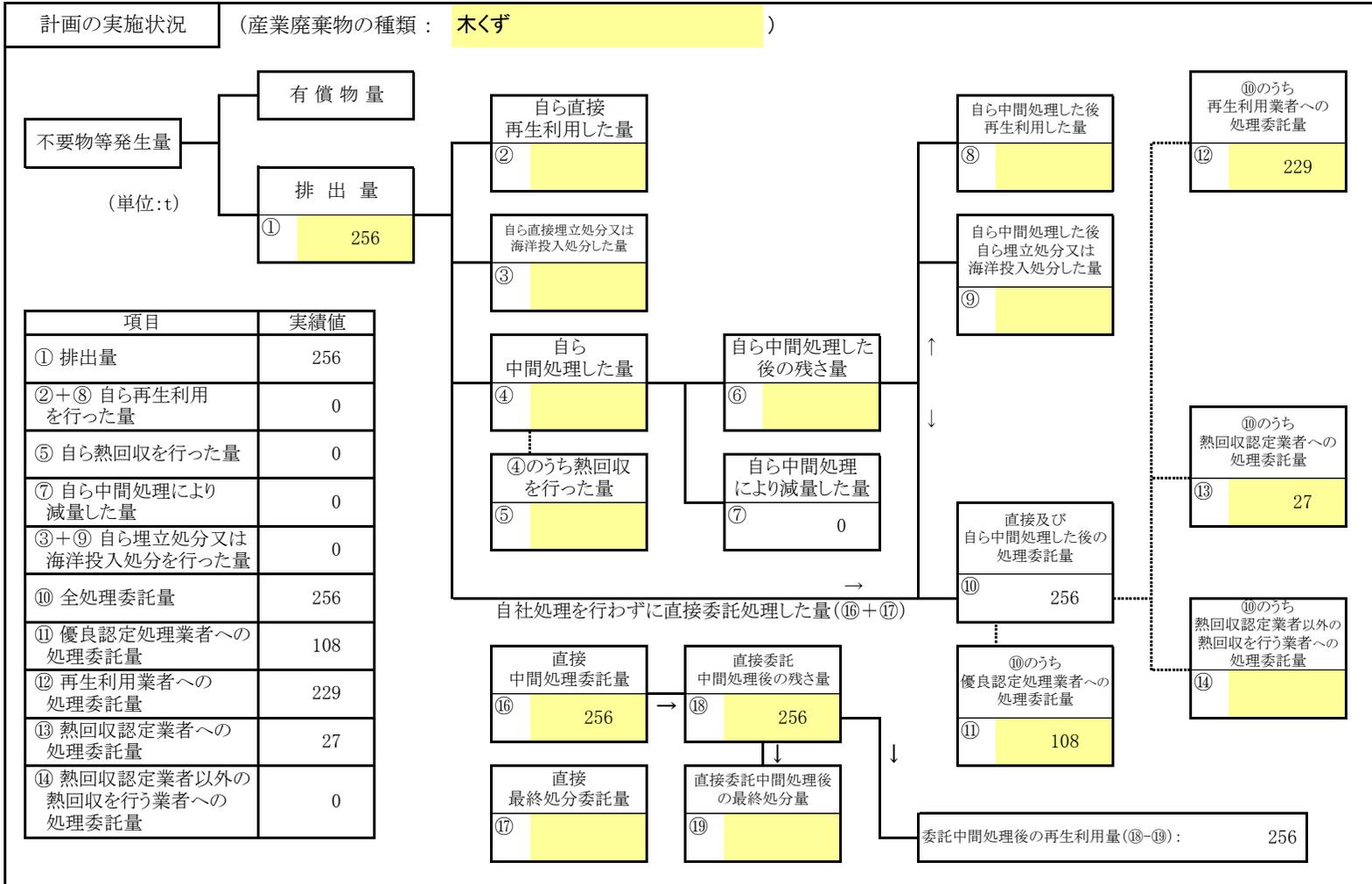
項目	①-(②+③+④+⑯+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑯+⑰)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正



(第2面)

備考 1) ⑮~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) 黄色の部分に入力してください。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

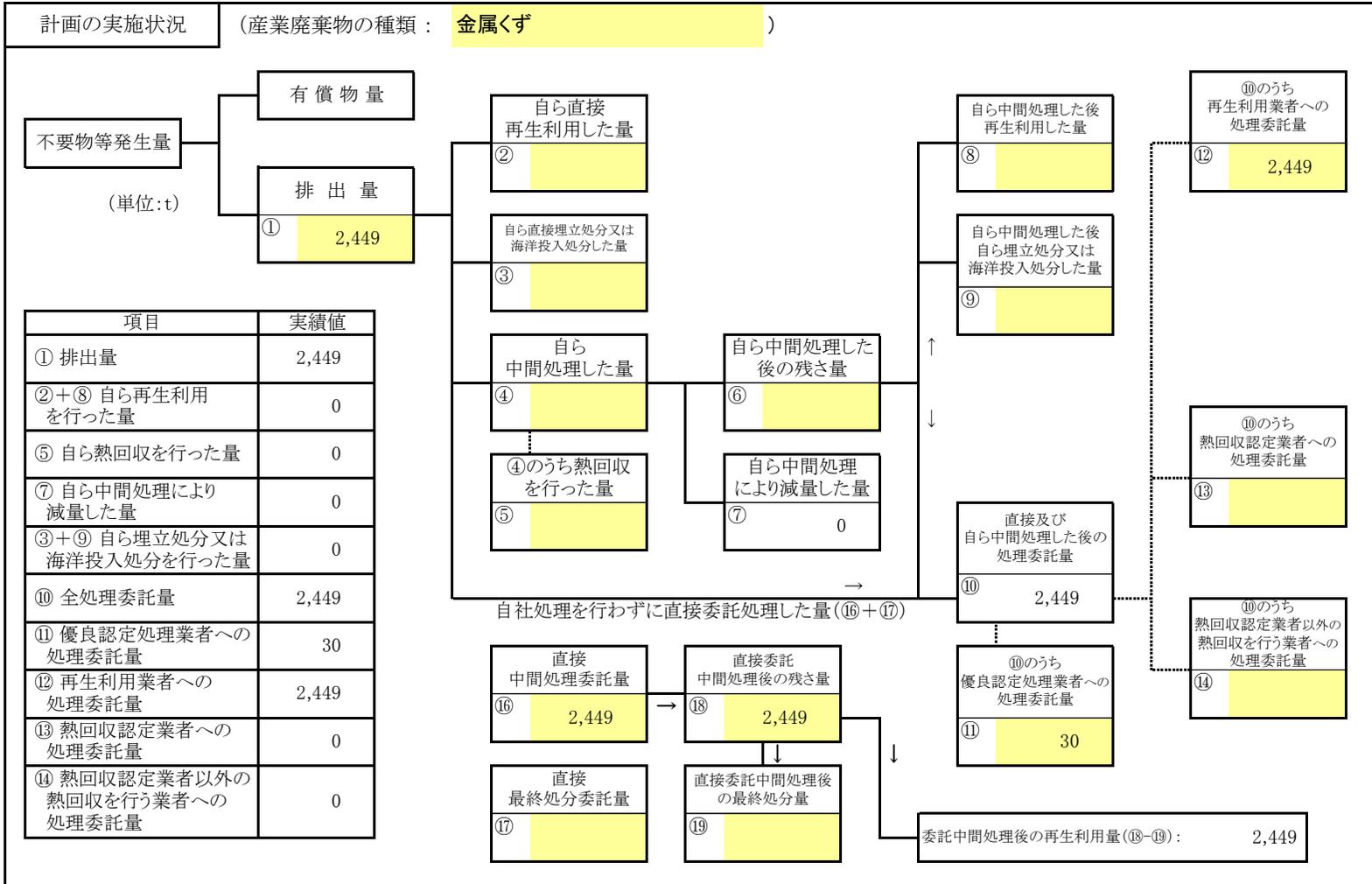
項目	①-(②+③+④+⑮+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑮+⑰)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正



(第2面)

備考 1) ⑮~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) 黄色の部分に入力してください。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

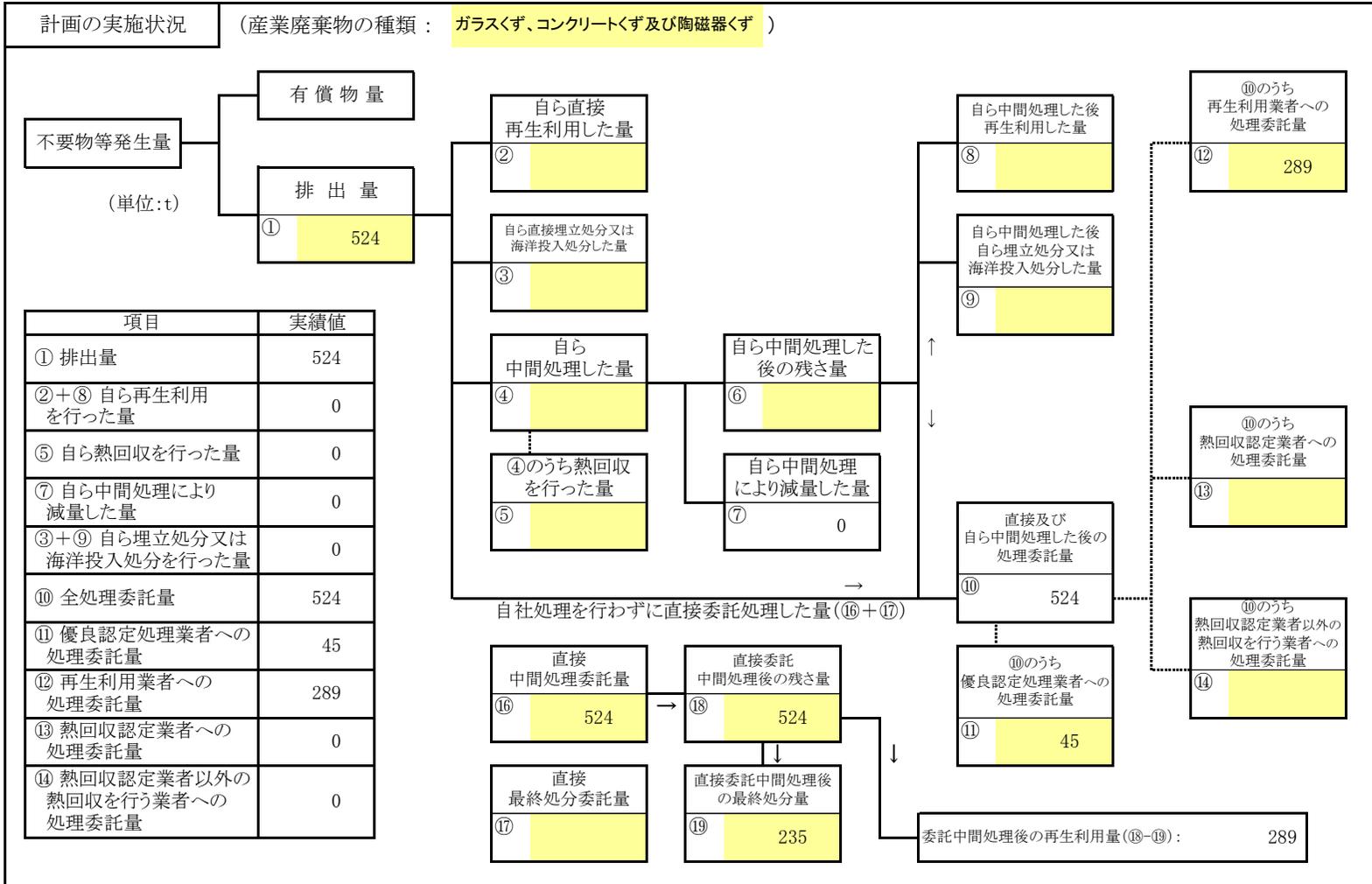
項目	①-(②+③+④+⑮+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑮+⑰)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正



(第2面)

備考 1) ⑯~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) 黄色の部分に入力してください。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

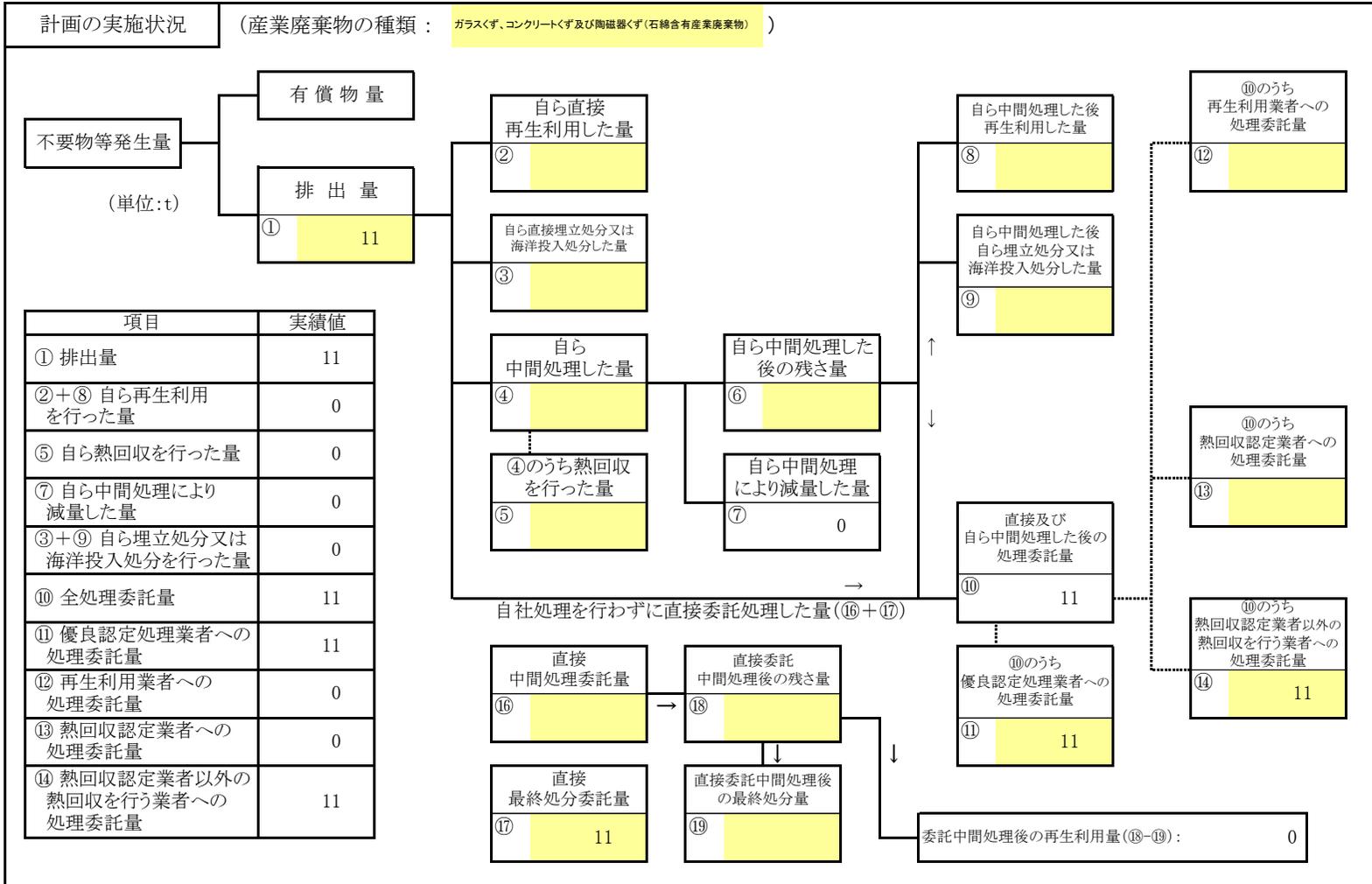
項目	①-(②+③+④+⑯+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑯+⑰)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正



(第2面)

備考 1) ⑯~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) 黄色の部分に入力してください。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

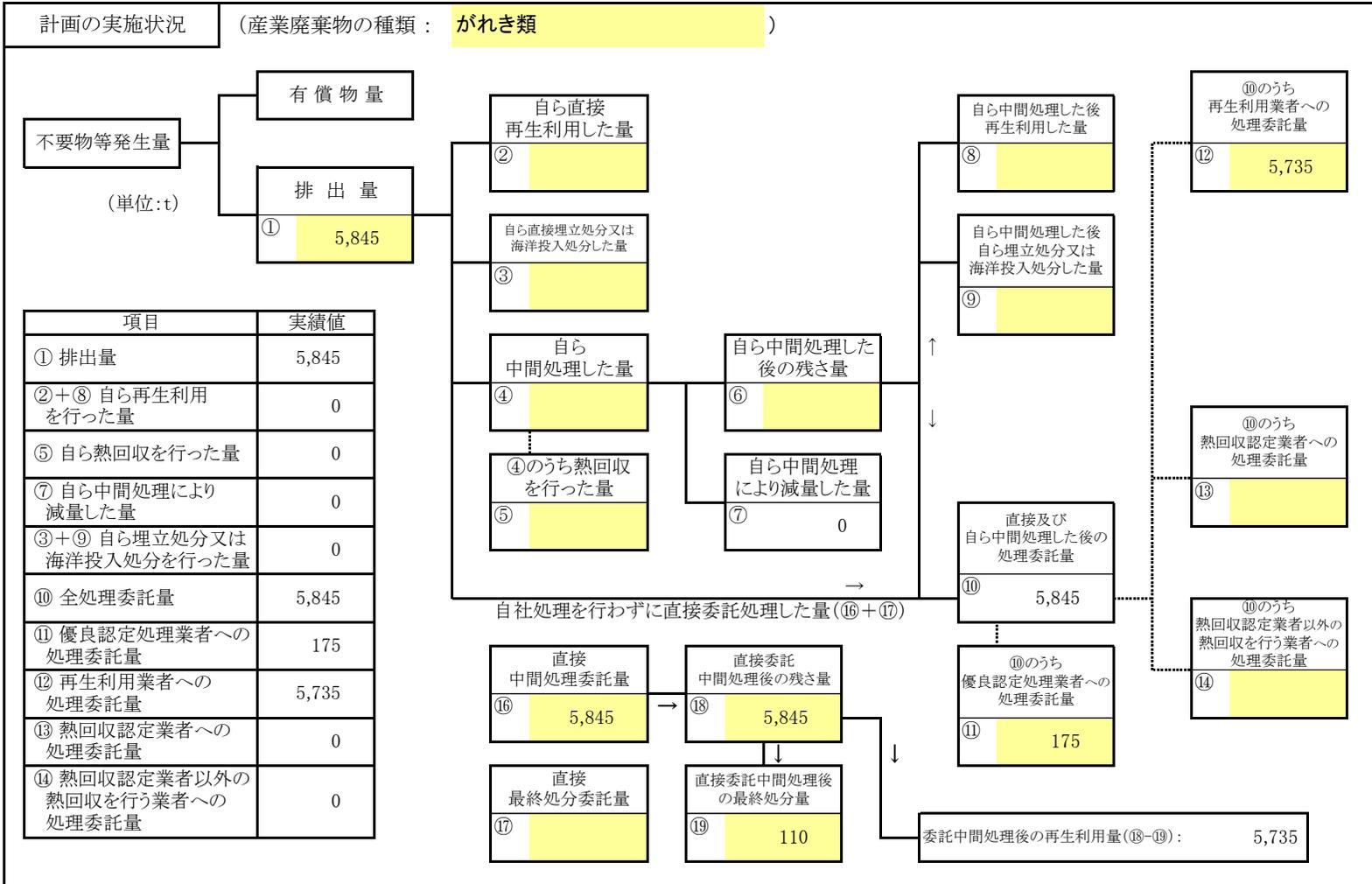
項目	①-(②+③+④+⑯+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑯+⑰)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

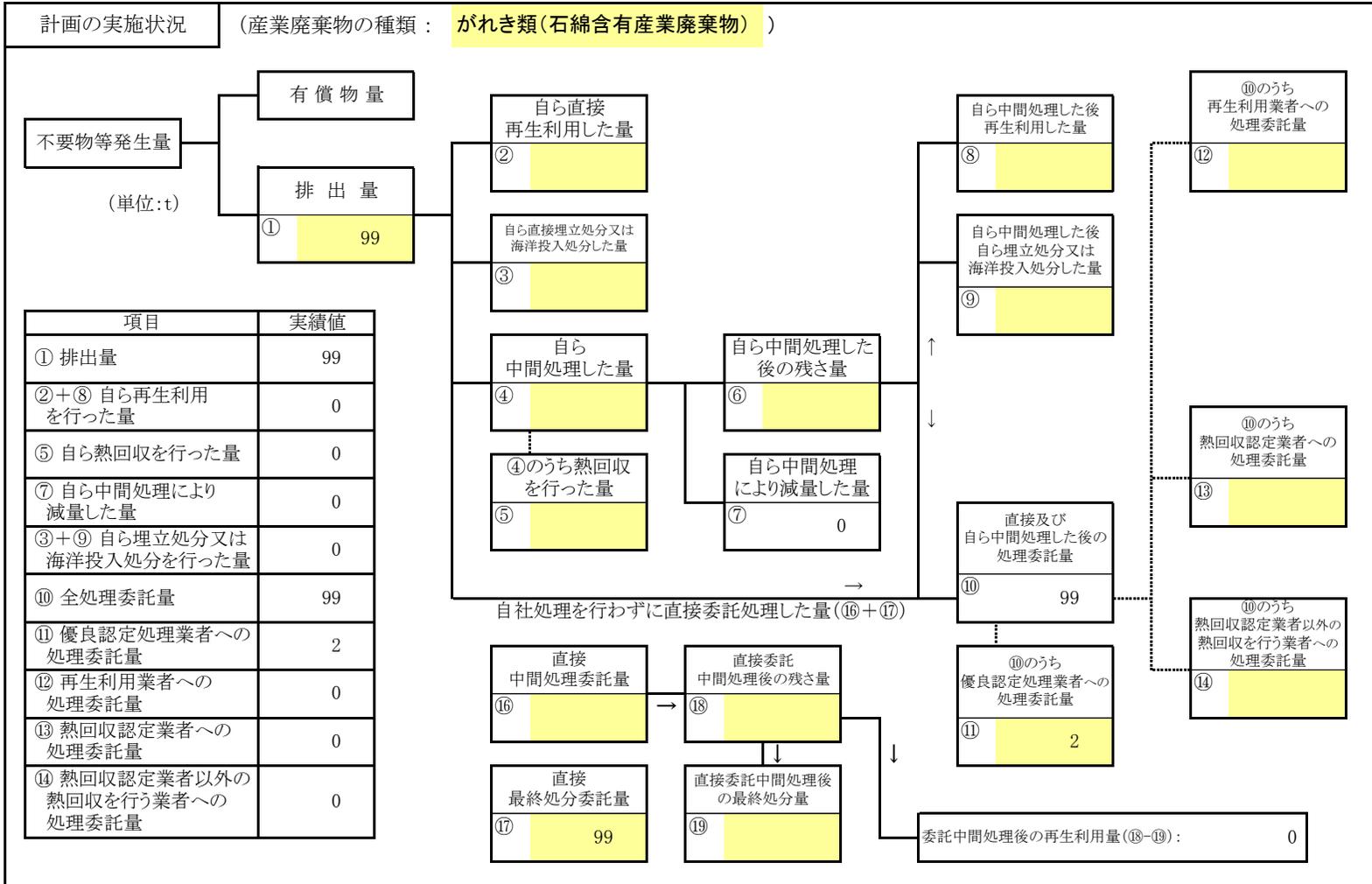


(第2面)

備考 1) ⑬~⑭は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) 黄色の部分に入力してください。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑬+⑭)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑬+⑭)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正





備考 1) ⑯~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) 黄色の部分に入力してください。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑯+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑯+⑰)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 実 施 状 況 報 告 書 の [集 計 用 シ ー ト]

提 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
各行政庁の所管区域内の作業所(現場)を総括的に管理する支店等の住所	各行政庁の所管区域内の作業所(現場)を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
姫路市南駅前町26番地	大和ハウス工業株式会社姫路店	本店住宅工事部第十二課(姫路駐在)	露久志 かづみ	079-285-2155	079-223-5026	m802268@daiwahouse.jp

建設業の備考

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況										②+⑧		③+⑨					
コード	名 称	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥⑤のうち 中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した 後自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	委託先による区分 (⑩=①-②-③-④+⑥-⑧-⑨ =⑩+⑬+⑭+⑮+⑯)					⑫優良認定処理業者 への処理委託量(t)	⑬自ら再生利用 を行った量(t)	⑭⑬+⑯の量を合 計したもの(自動計 算)
												⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外 の熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理 委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)			
100	燃え殻	0									0							0	0
200	汚泥	65									65	65						0	0
300	廃油	5									5	5					5	0	0
400	廃酸	0									0							0	0
500	廃アルカリ	0									0							0	0
	廃プラスチック類	136	0	0	0	0	0	0	0	0	136	0.5	127	0	0	8	27	0	0
	600 廃プラスチック類	135									135	0.5	127			7	27	0	0
	2430 廃プラスチック類(石綿含有)	1									1					1	1	0	0
700	紙くず	23									23	23					10	0	0
800	木くず	256									256	229	27				108	0	0
900	繊維くず	3									3	2				1	1	0	0
1200	金属くず	2,449									2,449	2,449					30	0	0
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	535	0	0	0	0	0	0	0	0	535	289	0	0	0	246	57	0	0
	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	252									252	17				235	30	0	0
	1322 廃石膏ボード	272									272	272					15	0	0
	2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有)	11									11					11	11	0	0
	がれき類	5,945	0	0	0	0	0	0	0	0	5,944	5,736	0	0	0	209	176	0	0
	1500 その他のがれき類	148									148	38				110	114	0	0
	1501 コンクリート塊	4,705									4,705	4,705					59	0	0
	1502 アスファルト・コンクリート塊	992									992	992					2	0	0
	2440 がれき類(石綿含有)	89									89					99	2	0	0
	建設系混合廃棄物	79	0	0	0	0	0	0	0	0	79	55	0	0	0	24	79	0	0
	2010 建設系混合廃棄物(安定型)	0									0							0	0
	2020 建設系混合廃棄物(管理型)	79									79	55				24	79	0	0
	2410 建設系混合廃棄物(石綿含有)	0									0							0	0
	合計		0	0	0	0	0	0	0	0	9,494	8,852	155	0	0	487	493	0	0

(注1) トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
 (注2) 上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。